

令和6年

# 8月 ソフィアだより



生きているということ

いま、生きているということ それはミニスカート それはプラネタリウム

それはヨハン・シュトラウス それはピカソ それはアルプス

すべての美しいものに 出会うということ

そして

かくされた悪を注意深くこぼむこと

谷川俊太郎 生きる より抜粋



## 子

ども達は、自分の体を介して周りの世界を知ります。子どもの日常には、初めてみるもの、初めての音、初めての味、初めての匂い、初めての感触があり五感をフル回転させてたくさんのことを学んでいます。ソフィア園では、3歳児クラスからソフィア独自のカリキュラム『ノビシアメソッド』を取り入れ展開しています。8月は「水」をテーマに保育がすすみます。

冷たい、温かい、水は固まる、水は流れる、水は形を変える、飲む水、飲めない水、自分の体の中にも水はいっぱい・・・お料理にも、お花にも、お風呂にも生活の中のあちこちに水があること、しかし、大雨になり人々の生活を根底からくつがえすこともある。自然との共存。環境保護の大切さにいきついていきます。

乳幼児期に五感を通して周りの世界をよりよく知り知識を持ちさまざまな角度から思考していく経験は子ども達一人ひとりが自分の人生を主体的にたくましく生きていく力につながると考えます。

3歳児クラスでの場面です。

室内の人形5体を手からあふれるばかりにもっていた男の子にクラスメートの子ども1人が近寄り「貸して」と伝えました。「いや！」

その場にいた私「そんなにたくさんのお人形もっているから貸してあげてほしいなあ」と伝えると「お父さんと、おかあさんと、おにいちゃんもおねえちゃんもおともだちも」と話し始め、「あっ、この子はみんなが集まる場面を想像していたのか。とむげに貸してあげてと伝えたことを反省しました。案の定その子どもは、1人ずつのコップをもってきてセッティングし遊び始めました。

子ども達は自分が経験したことを知識としてたくわえ創造力たくましくあそびを展開していきます。それは子ども達のこれからの人生の生きる力の素になるものです。ノビシアメソッドを通じて子ども達一人ひとりが「なんで?」「どうなっているの?」「どうしたらいいのかなあ?」の興味関心を引き出し自ら考えワクワクする園生活になるよう援助していきたいと思います。

ノビシア・・・伸びる(ノビル)・幸せ(シアワセ)・Axia(ギリシャ語でアクシア=価値)という意味をあわせて創った造語です。